

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
3 - 1 - 1	身近な交通ネットワークや広域交通ネットワークを充実する
重点施策ID	重点施策名
- - -	【体系外】

2. 事業名等	
事業名	橋梁点検・長寿命化修繕計画策定事業
事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業主体	市
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務
実施期間	平成 20 年度 ～ 平成 25 年度
根拠法規	
各種の計画への反映 (=根拠計画)	橋梁の長寿命化修繕計画
事業ID	

3. 事業の内容等					
事業の背景	<p>一般的に橋梁の耐用年数は約50年といわれており、昭和30年代の高度成長期に造られた橋梁は更新時期を迎えている。平成18年度時点において、都道府県では約1割、市町村に至っては約9割で点検が実施されていない。建設後50年以上を経過した橋梁の割合が、平成18年現在の6%から20年後には47%と大幅に老化橋梁が増大することから、適時に適切な修繕を行わなければ、架け替えや大規模な修繕が一時期に集中し、近い将来大きな財政負担が生じる恐れがある。</p>				
補助事業	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <td>長寿命化修繕計画策定事業、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業</td> </tr> <tr> <th>補助率</th> <td>国 県 その他 1/ 1/ 1/</td> </tr> </table>	名称	長寿命化修繕計画策定事業、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業	補助率	国 県 その他 1/ 1/ 1/
名称	長寿命化修繕計画策定事業、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業				
補助率	国 県 その他 1/ 1/ 1/				
起債の種類	① ② ③				

事業の目的及び対象	事業概要				
【目的】 地方公共団体が長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づく点検を実施することにより、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架け替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。	<p>●橋梁点検・・・・・・豊後大野市 全橋梁数：556橋 (H20・21) 橋長L=15m以上の橋梁：185橋 橋長L=15m未満の橋梁：371橋</p> <p>●長寿命化修繕計画策定（現況点検をした結果、修繕が必要な橋について長寿命化修繕計画を策定） (H23～25)</p>				
【対象】 市民	<table border="1"> <tr> <th>前年度の評価</th> <th>評価結果に基づき見直した内容</th> </tr> <tr> <td>E 維持</td> <td></td> </tr> </table>	前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容	E 維持	
前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容				
E 維持					

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)							
財源内訳	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金					21,940	5,550
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源計				2,986	8,660	
決 算	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源計				2,986	30,600	

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課 題
【実績】	【実績】	【実績】 橋梁点検 51橋 (L=15m以上)	

達成目標と前年度までの進捗状況・・・・・・事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	橋梁の調査件数						
効率指標	-						
成果指標	計画策定の進捗率	単 位 %					
年 度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備 考
種 別				進捗率	進捗率	進捗率	
目標値				29	64	100	
実績値				28			
達成率				98.1%			
備 考							

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	橋梁の老朽化に伴い、橋梁点検を実施することで安全性を確保するとともに、長寿命化修繕計画を策定し、今後の維持修繕費のコスト削減を図るため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	橋梁は市道施設であるので、道路管理者である市が事業実施をしなければならないため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	事業実施については、橋梁の長寿命化修繕計画策定に向けて計画的、効率的に実施をしているため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	平成20年度は51橋について点検が進められ、通行の安全性の確保が図られているため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	5	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	橋梁の長寿命化修繕計画の基礎資料となる橋梁点検を早期に終え、平成25年度までに長寿命化修繕計画を策定する必要があるため。				
人 体 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	道路改良事業は、グループ制を活用し、平成25年までに長寿命化修繕計画を立てる必要があり、業務量から削減は困難であるため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	橋梁の長寿命化計画策定に向けて、計画的に事業を継続しており、現状を維持する必要があるため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	